

アルコール製剤による殺菌施工
～シャットノクサス・ミニ～

春の訪れを感じる日が増えてきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

一年以上に及ぶ新型コロナウイルスとの戦いですが、まだ気は抜けない状況です。新型コロナウイルス対策には様々なものがありますが、今回はアルコール製剤を用いた効果的な対策についてご紹介します。

アルコールは速乾性があり、錆や臭気も発生しにくく、安全で手軽であるため、作業場や事務所などの消毒でも多用されています。ただし、アルコールのデメリットとして、高濃度のアルコールは引火の危険性があり、ミストにして

噴霧しにくいいため、環境の消毒時には布巾やモップを用いて清拭を行う必要があります、多量の薬剤と手間を要することが挙げられます。

これらの課題を解決できる機器として、シャットノクサス・ミニがあります(図2)。この機器は、無電源で炭酸ガス(CO₂)とアルコールの液を混合させ、引火性のない微粒子で噴霧することができる唯一の噴霧器です(図3)。また、均一かつ濡れを最小限に付着させることができるため、アルコール布巾で拭くことができないような場所も消毒液を処理することができ、さらに通常の建物の内部環境の場合、処理前の養生も不要、あるいは最小限で済みます。



図1：施工の様子

この特徴を活かして、有事の際の緊急的な消毒のため、あるいは日常的な調理・製造環境、事務所の予防消毒にお勧めです。実際の導入事例では、食品工場、医薬品工場、消防が中心となっています。この機会にご検討されてはいかがでしょうか。



図2：シャットノクサス・ミニ

図3：アルコール噴霧の不燃性試験
(特許第3754407号)

今月の

豆知識

ウグイスは何色？

ウグイスは春に特徴的な鳴き声をする鳥であり、名前はよく知られています。ただ、実際にウグイスを見たことがない人は、ウグイスは緑色の鳥、鶯色は黄緑色と思っている人も多くいるようですが、実際のウグイスは、茶色に近い緑色で、鶯色もウグイスの色を忠実に表した色を指します。これはなぜなのでしょう。

諸説ありますが、以下のことが原因と考えられます。

- ・メジロをウグイスと勘違いしていること
- ・花札の「梅に鶯」に描かれた鳥が鮮やかな緑色である
- ・「うぐいすあん」の色が黄緑色のものが多いこと

メジロは鮮やかな緑色の鳥で、春に庭先の木にもよく訪れます。一方ウグイスは警戒心が強く、姿を現すことはめったにありません。春に庭先にいるメジロとどこから聞こえるウグイスの声で、勘違いが起こったのかもしれない。また、うぐいすあんも、ひょっとしたらこの勘違いから名付けられたのかもしれない。

他にもこういう勘違いや入れ違ってしまった生き物があります。普段接している生き物についてもこのようなことに気付けると面白いと思いませんか。



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-241-8080・FAX 086-241-8094

拠点 大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島・高松・松山・金沢